

キャラクター名
遙篠 佑香 (ながしの ゆか)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ サラマンダー		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション	モルフェウス		年齢	16	性別	女性
覚醒	無知	衝動	破壊	初期侵食率	31	%
出自	天涯孤独	経験	喪失	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	5	1	2			8	行動値	3
感覚	0		1			1	(非装備時)	3
精神	1		0			1	戦闘移動	8
社会	2		0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	3		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
大斧	白兵	8r+4		Lv+7		インフィニティウェポンによって作成

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部 (常備)	
思い出の一品 (常備)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
春日 恭二	P 好奇心	N 敵愾心		
霧谷 雄吾	P 尽力	N 無関心		
加賀美 一夏	P 有為	N 無関心		
杭出 圭倒	P 好意	N 悔悟		
大室 美雪	P 幸福感	N 隔意		
古多 望夢	P 尽力	N 不安		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: サラマンダー	2	侵+2	メジャー			シンドローム		
効果: 組み合わせた判定のクリティカル値を - Lvする (下限7)								
完全獣化	2	侵+6	マイナー		自身			
効果: シーン中、肉体能力値を使用した判定D[Lv+2]。発動中、アイテムの使用及び装備不可								
究極獣化	1	侵+4d	マイナー		自身		120↑	
効果: 完全獣化中に発動。ダメージ+LvD、装甲値+10								
知性ある獣	★	侵+2	マイナー		自身			
効果: 完全獣化中にアイテムの使用及び装備を可能にする								
ハンティングスタイル	1	侵+1	マイナー	至近	自身			
効果: シーン中Lv回戦闘移動を行える								
インフィニティウェポン	3	侵+3	マイナー		自身			
効果: シーン中使用できる白兵武器の作成								
炎神の怒り	2	侵+3	メジャー/リアクション			肉体		
効果: 判定D[Lv+1] メインプロセス終了時、HPを3失う								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ライトニングブラッドの件でN市支部への支援を命令されたS市支部所属エージェント。
 生まれた時の異常な程に小さい体躯と髪、肌、瞳の色から実の両親に気味悪がられて捨てられたが、その後は孤児院に拾われ、そこで同年代の子供達や担当の先生と楽しく暮らしていた。
 しかしある時、自分の中で覚醒していた三つのシンドロームが暴走を引き起こし、怪物となった彼女は孤児院の人間全員を殺害する事件を起こす。
 その際に駆け付けたエージェントに制圧され、その戦闘能力を利用せんという上層部の考えによってUGNへと所属。組織の施設内で受けたカウンセリングで自分がオーヴァードだということ、自分が愛していた友人たちを虐殺したことを知った。
 親しかった人物全てを殺したことへの絶大なショックでほとんどの感情が欠落、幸せな人生を送る権利は自分にはもう無いということを悟った彼女は、以降、凶悪なジャームやFHエージェントを殲滅する任務のみの出勤をする兵器のような運用をされ続け、任務をこなしている内にS市支部へと配属される。

シンドロームはキュマイラ、サラマンダー、モルフェウスのトライブリードで、戦闘時にキュマイラの完全獣化とモルフェウスの力で黒い外套のようなものを身に纏った巨人の姿になり、フードを被った顔にはガスマスクが装着され、曇ったレンズの奥からは一つの巨大な眼が覗える。
 武器はインフィニティウェポンによって生み出す巨大な両手斧に、サラマンダーの能力で纏った炎を付与して攻撃する。

現在はある高等学校の生徒という名目で街中に潜んでおり、名前は偽名である。昔孤児院でつけてもらった名前があるらしいが、それを使う資格は自分にはもう無いとしている。
 常に無口無表情で、必要時以外での会話は行わない。
 組織内の人間に親しい者は居らず、彼女も誰かと親しくなることを望んでいないため、怪物を見るような目で見られている。

しかし、たまに、どこか無意識に、あの時のように傍にいてくれる誰かが欲しいと思う時が彼女の中にもあった。
 ※ / より後ろの身長・体重は完全獣化時のもの。